

令和8年度 白川郷学園の教育活動

令和8年3月17日(火) 修正

10年目の白川郷学園。これまで、子どもたち、保護者の皆さん、村の皆さん、OBを含めた教職員の力を結集し、9年間で県下に誇る子どもたちが主役となる学園を創り、多くの成果を生み出してきました。しかし、時代は変わります。社会も変わります。求められる人間像も変わります。白川郷学園も現状に満足することなく、変わり続けなければなりません。令和8年度の新たな挑戦を紹介します！

1 学園の教育目標「ひとりだち」具現のための三本柱「挑戦」「創造」「貢献」【継続】

- 挑戦…目標をもち、失敗を恐れず最後までやり抜く力
- 創造…仲間とともに、新たな価値や変化を創り出す力
- 貢献…仲間の幸せを願って行動する力



これら3つの柱を引き続き「育成をめざす資質・能力」として、子どもたちのよさや可能性にさらに磨きをかけていきます。

2 学校行事や活動に対する子どもたちの意識をつなぐ「二学期制」【継続】

児童生徒会活動や学級の係活動の期間と学期を合わせました。また、夏休みや冬休み等、長期休みも学期の中に含め、学習や諸活動に意識を途切らせることなく取り組めるようにしています。教職員には、働き方改革だけでなく、年間の様々な活動の意味を共通理解した上で共通指導ができるよう研修を重ね、学級、学園の活動にうねりや高みを生み出します。

3 単元テストを核とした、「学習のカルテ」と「学習計画シート」の導入【深化】

令和7年度には、後期課程で期末テストを廃止しました。「学習のカルテ」をよりよいものにするとともに、自分で弱点を見つけ、目標をもち、計画を立てて取り組むことができるようにします。特に後期課程では、学習計画を立てるシートや生活ノートの改変に取り組みます。

4 前期課程・後期課程ともに45分授業+生み出した1日30分の時間の活用【新規】

- 1時間の授業を45分授業→5分の生み出し×1日6時間=1日30分
- 30分を放課後に集め、日替わりメニューで学力向上と学級の活動の充実をめざします。(学力向上…補充的な学習、個人探究的な学び、学級の活動…行事の取組、読書活動等)

◆通常の学校(小学校45分、中学校50分)

50分×1015コマ

◆単位授業時間(小学校45分、中学校45分)

45分×1015コマ

5分×1015コマ

生み出した時間 113コマ

5,075分

◆検証① 1単位時間を45分にしても、指導内容の精選・重点化をして学力保証はできるか?

◆検証② 生み出した時間を学力保証(補充学習、探究学習)、学級の諸活動に活用できないか?

◆単なる時間短縮授業ではない・・・

- 多様な子どもを誰一人取り残さない視点としての「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実
- 科学的エビデンスに基づく効果的な授業方法、児童生徒の学力方略の指導

■日課【案】

令和8年度 白川郷学園 日課表	月・水	火・木	金
朝の会	8:00~8:10	8:00~8:10	8:00~8:10
1時間目	8:15~9:00	8:15~9:00	8:15~9:00
2時間目	9:10~9:55	9:10~9:55	9:10~9:55
青空タイム	9:55~10:10	9:55~10:10	9:55~10:10
3時間目	10:15~11:00	10:15~11:00	10:15~11:00
4時間目	11:10~11:55	11:10~11:55	11:10~11:55
給食	11:55~12:40	11:55~12:40	11:55~12:40
昼休み	12:40~13:00	12:40~13:00	12:40~13:00
掃除/ひとりだちタイム	13:05~13:20	13:05~13:20	13:05~13:20
5時間目	13:40~14:25	13:30~14:15	13:30~14:15
6時間目	14:35~15:20	14:25~15:10	14:25~15:10
ひとりだちタイム	14:20~14:50	14:20~14:50	14:20~14:50
朝の会	15:25~15:35	14:50~15:00	15:25~15:35
下校	15:40	15:05	15:40
5時間授業の日	朝の会 14:30~14:40		朝の会 14:30~14:40
朝の会の日	朝の会 14:45		朝の会 14:45
朝の会		朝の会 14:30~14:40	朝の会 14:30~14:40
朝の会		朝の会 14:20~14:30	朝の会 14:20~14:30
朝の会		朝の会 14:50~15:00	朝の会 14:50~15:00
朝の会		朝の会 14:35	朝の会 14:35
朝の会		朝の会 15:05	朝の会 15:05

◆帯活動「ひとりだちタイム」(30分間) 【前期課程:月~木、後期課程:月~金】

【前期課程】

- ・月:学級の活動(合唱、読書)、行事の取組
- ・火:パワーアップ(補充>5年生以上探究活動)
- ・水:結クラス活動(学習、トーク、LP活動)
- ・木:パワーアップ(補充>5年生以上探究活動)

【後期課程】

- ・月:学級の活動(合唱、読書)、行事の取組
- ・火:パワーアップ(補充<探究活動)
- ・水:結クラス活動(学習、トーク、LP活動)
- ・木:パワーアップ(補充<探究活動)
- ・金:プランニング(学習計画)

【その他】

- ・月、水:放課後に教職員の研修等に活用
- ・後期課程において、学習計画、実行、振り返りのサイクル確立

5 白川郷だからできる力がつく楽しい授業へダイナミックな改革【深化】

- ICTを活用した遠隔地合同授業への挑戦!
- 荻町等に出かけて行うリアルな体験型授業!(英会話、社会地理等)
- 豊かな経験をもつ白川村民を特別講師に招く「白川びと」授業!



6 限られた年間時数を無駄にしない・・・行事の見直し【新規】

- 旅行・集団宿泊的行事・・・新5、7年生合同宿泊研修「能登青少年交流の家で海の自然に学ぶ」【新規】
- 新8年生宿泊研修「方面から自分たちで考える+他中学校」【新規】
- 体育大会の時期の見直し・・・5月の最終土曜日開催!(取組期間から熱中症を回避)
- 種目の見直し・・・地域の方や保護者と楽しめる競技の新設
- 家庭訪問の廃止・・・年度初めを希望制の懇談とします。担任の家庭確認は実施。
- 部活動壮行会の廃止・・・夏の大会前の集会で出場選手を全校で激励。

7 「ふるさと学習」+「アントレ学習」=「村民学」の熟成【深化】

- ふるさと学習・・・ふるさと白川郷の宝物を徹底的に学ぶ!
- アントレ学習・・・社会の困り感解決のために、try&errorの精神で広い視野に立って起業家的マインドを学ぶ
- *年間の授業時数がひっ迫状態。学習内容、学習活動の精選が必要。村民とのつながりを大切にすることで、より質の高い学びを行います。



8 通級指導教室「まなび」、校内支援教室「ひかり」の学びの充実【深化】

令和7年度は、エアコン設置、指導方針・指導計画の決定など、ハード面で整備を進めました。一人ひとりを大切に、誰にとっても安心・安全な居場所、学びの場所を全職員で創り上げ、支援の在り方検証していきます。



9 縦割り活動「結クラス」の拡充、「LP活動」の充実【深化】

- 結クラス→結クラスウイークを2週間に(可能な範囲)、保育園児も入れた12学年縦割り
- LP活動→学園全体の成長のために創意工夫ある活動の創出。子どもが予算・決算を学ぶ

10 PTA会計の見直し【新規】

- 年間のPTA会費の削減...6,000円/年→3,000円/年
- PTA会計役員の見直し...4年生保護者+管理職(1教頭が補佐)
- 保護者からの徴収金の徴収回数の見直し...8回→4回(手数料55円×4回分の削減)

11 学園創立10周年記念式典の挙行【新規】

- プロジェクト委員会を立ち上げて計画をします。「すべての人に感謝！」
- ・堅苦しくない講話→【案】校歌の作詞・作曲者の思いを聴き、校歌を極める?
- ・みんなで創る→【案】在校生、卒業生、保護者、教職員、教職員OB、村民(11月?)
- ・記念品→【案】学園敷地に何かを残すか?クリアファイル?記念誌?

12 保護者配付文書のペーパーレス化【新規】

- 学校からの文書は「すぐーる」のみの配信とします。学級通信等はハイブリッドとします。